

## 自然エネルギーによる持続可能な社会の構築に向けた緊急提言

内閣総理大臣 安倍 晋三様

指定都市 自然エネルギー協議会

平成24年7月1日に自然エネルギーの本格的な普及に向けて創設された固定価格買取制度（以下、FIT制度）が、運用開始から3年目を迎え、自然エネルギーの導入が各地で進んできているところである。

こうした中、今回、複数の電力会社から「再生可能エネルギー発電設備に対する接続申込みの回答保留」が発表されたことは、対象地域の自然エネルギーの導入に大きく水を差すばかりではなく、国民に不安を抱かせる事態になっている。

現在、我が国における自然エネルギー導入量は、これまで国が示した約20%を上回る水準の導入に対して、2013年度で10.7%であり、そのうち水力を除くとわずか2.2%に過ぎず、これは、既に水力を除いて20%以上を達成しているドイツ、スペインなど欧州の先進国と比べても、著しく低い数字であり、引き続き、自然エネルギーの導入を拡大していくためには、回答保留問題はもとより、FIT制度の改善に向けて、早急に取り組むことが不可欠である。

特に、安倍政権が閣議決定したエネルギー基本計画においては、自然エネルギーについて「2013年から3年程度導入を最大限加速していく」とされており、今回の事態がきっかけとなって、市民や事業者の意欲を削ぐようなことがあっては決してならない。

よって国は、現状の課題に早急に対応し、自然エネルギーによる持続可能な社会の構築を加速するため、次の事項について緊急に必要な政策を講じるよう、約2730万人の市民を抱える我々「指定都市 自然エネルギー協議会」として提言する。

## 1. 接続回答保留問題について

### <接続保留の解除と市民・事業者への説明責任>

- ・市民・事業者の不安感が高まっていることから、電力系統への影響の小さい電源から段階的に接続を再開するなど、保留解除の方法や時期等について、国が責任を持って速やかに方針を示すこと
- ・各電力会社に対し、市民・事業者の立場に配慮しながら、十分な情報開示を行い、説明責任を果たすよう求めること

### <電力系統の安定化対策>

- ・十分に活用されていない地域間連系線を最大限活用し、効果的で柔軟な運用を行うことで、自然エネルギーの受け入れを最大化すること
- ・発電事業者に対する出力抑制は、電力系統の広域運用や揚水発電の活用など最大限取り得る施策を実行した上での最終手段とし、実施する場合は事前にその理由を明らかにし、十分な理解を得ること
- ・中長期的には地域内・地域間の電力系統の強化を図ること

## 2. 自然エネルギーの導入目標の早期設定と FIT 制度について

### <自然エネルギーの導入目標>

- ・自然エネルギーの種別ごとの導入目標量を早期に設定し、その上で、自然エネルギーの普及に向けたロードマップを示すこと

### <FIT 制度の堅持>

- ・FIT 制度が自然エネルギーの普及拡大に大きく貢献していることに鑑み、制度を堅持しつつ、将来的にも持続可能なものとする
- ・「自然エネルギーの普及拡大」および「国民負担の抑制」の両面を考慮した適正な買取価格の設定など、制度の改善に取り組むこと
- ・特に都市部では、中小規模の太陽光発電や下水汚泥及び食品廃棄物などを活用したバイオマス発電が分散型電源として有力なエネルギー源であることから、それぞれの事業や規模に応じた細かい価格の設定など、戦略的な買取価格を設定すること

- ・「賦課金」については、透明性の確保のため、情報公開を積極的に図るなど、国民の理解が得られるよう、自然エネルギーの普及拡大による便益と負担等について、国が率先して説明責任を果たすこと
- ・設備認定を受けたにも関わらず、早期に運転開始が見込まれないものや事業化に着手しない、いわゆる「空押さえ」を解消し、各電力会社の受け入れ可能量の拡大に努めること

### **3. 中立性・透明性を担保した、地域に資する電力システム改革の着実な推進**

- ・地域資源の更なる活用のために、分散型電源の地産地消を促すような送配電線利用料（託送料金）に関する制度設計を行うこと
- ・需要家である市民自身が、自然エネルギー由来等の電力を自らの意思で自由に選択できる環境を整備すること

平成26年11月20日

指定都市 自然エネルギー協議会

会 長	京 都 市 長	門 川	大 作
副会長	福 岡 市 長	高 島	宗 一 郎
副会長	浜 松 市 長	鈴 木	康 友
幹 事	さいたま市長	清 水	勇 人
	札 幌 市 長	上 田	文 雄
	仙 台 市 長	奥 山	恵 美 子
	横 浜 市 長	林	文 子
	川 崎 市 長	福 田	紀 彦
	相模原市長	加 山	俊 夫
	新 潟 市 長	篠 田	昭
	静 岡 市 長	田 辺	信 宏
	名 古 屋 市 長	河 村	たかし
	大 阪 市 長	橋 下	徹
	堺 市 長	竹 山	修 身
	神 戸 市 長	久 元	喜 造
	岡 山 市 長	大 森	雅 夫
	広 島 市 長	松 井	一 實
	北九州市長	北 橋	健 治